

## 赤城山山行報告

【山行日】 2014年 9月 15(月) 曇り時々晴

【集 合】 岩舟支所P AM 5:00

【費 用】 マイカー1台 : 1,000円

【メンバー】 A : CL:鈴木、梶内、島田、関、  
福田々、渡辺

B : CL:大西 田村

【コースタイム】A : 岩舟支所 P5:00=大洞 P6:40=

黒檜山登山口 6:50~黒檜山 8:20/8:40~駒ヶ岳 9:30

~覚満淵 10:20~小沼 11:10~八丁峠 11:20~地藏岳 12:00/12:30~大洞 P13:30=

あいのやまの湯 14:10/14:30=岩舟支所 P16:00

B : 大洞 P7:00~覚満淵 7:30~小沼 9:00~地藏岳 10:00/12:30~大洞 P13:30

今回の山行も健脚組と、のんびり組に分けて計画した。健脚組は黒檜山から駒ヶ岳へ縦走し、覚満淵から小沼を通過して地藏岳に登るコース。のんびり組は覚満淵と小沼を一周し地藏岳に登るコース。



地藏岳の山頂で合流し、一緒に昼食を食べて下山する計画にした。

大洞手前の駐車場で支度をし、トイレを済ませて黒檜山登山口へ車で送ってもらう。

黒檜山への登山道はいきなり急登から始まる。ミズナラの樹林帯を登り、尾根道に出ると、少して猫岩と呼ばれる露岩がある。大沼と地藏岳の展望が見事な場所だ。ここからは尾根伝いに登って行くが、大きな岩をいくつも越え歩きにくい。一度傾

斜が少し緩やかになり、最後に急傾斜を頑張ると駒ヶ岳と黒檜山を結ぶ稜線に出る。分岐を左に辿ると、すぐに黒檜山の山頂に着く。山頂はあまり展望が得られないので、北側に尾根を辿ると展望所に出る。西側から北側の展望が開けているが、今日は雲が多くあまり眺望は得られなかった。山頂まで戻り駒ヶ岳に向かう。稜線伝いに進むと、御黒檜大神を祀った祠があり、駒ヶ岳や小沼が望める。ここから階段状の道を一気に下って行く。鞍部の大タルミから笹の平坦な道を進み、登り返せば駒ヶ岳山頂に出る。小休止して果物や菓子でエネルギーを補給する。ここから尾根を下り、右に折れると鉄階段があり一気に下って行く。

鉄階段が終わり、ジグザグ道を下ると駒ヶ岳登山口の車道に出る。駒ヶ岳から下っている途中で、のんびり組からTELがあり地藏岳山頂に着いたようだ。車道を左に進むとすぐに、覚満淵の入口に出る。入口からすぐに右側に進み、沼の栈道を歩いて鳥居峠に出る。峠から左上に進む登山道を辿り、小沼に出て駐車場でトイレを済ませる。道路沿いに八丁峠まで行き、右に折れると地藏岳への登山口となる。地藏岳への登り



は、木の階段を登って行く。疲れた体に階段はとても堪えるが、山頂で待っているのも頑張って登



る。階段が終わると傾斜もゆるくなり、頂上のアンテナが見えるようになると間もなく山頂に着いた。のんびり組のお出迎えを受け、お互いの健闘を称え合う。早速昼食のうどんを作り、皆で登って来た黒檜山や駒ヶ岳を眺めながら美味しく戴く。お茶やデザートを食べながらのんびり眺望を楽しみ、全員集合の写真撮って下山する。下山は山頂から北側に、大沼に向かって降りて行く。途中の分岐を右側の近道へ降りたが、それが間違いだっ

た。登山道が急な上、雨水でえぐられ崩れ歩きにくい。近道のはずが結構時間が掛かってしまった。でも駐車場へすぐの場所に出たので、舗装道路歩きが苦手な〇嬢はご満悦。帰りは定番の「あいのやまの湯」で買い物し、予定より1時間早く岩舟支所へ帰着した。

